

# 美 学 257

マルティン・ゼールにおける「美的承認」概念の美学的射程	松山 聖央	1
頼山陽の作画精神に関する一考察——「磊碗」の再解釈を通じて——	島村 幸忠	13
「岡田式静坐法」における呼吸の身体感覚に関する一考察 ——重力の身体感性論を通じて——	片山 俊宏	25
オスカー・ココシュカ『夢見る少年たち』再考 ——世紀転換期ウィーンにみるプリミティヴィスム——	福岡加代子	37
ヴァイマル・パウハウスと庭園芸術 ——ハインツ・ヴィヒマンによる改革の試み——	後藤 文子	49
安谷屋正義における近代性の獲得と伝統の再解釈	鍵谷 怜	61
父の幽霊 ——ジョルジョ・デ・キリコにおけるエディプス・コンプレックスについて——	長尾 天	73
ヨーゼフ・ボイスと「総合芸術作品」 ——一九八〇年代におけるナチズムとヴァーグナーへの言及——	水野 俊	85
ロバート・モリス《グランドラピッズ・プロジェクト》における知覚体験 ——その使用価値に着目して——	松本 理沙	97
高松次郎《日本語の文字》《英語の単語》再考 ——複製メディア時代の芸術作品におけるオリジナルとコピーの問題を軸に——	大澤 慶久	109
ヨハン・マッテゾンの感覚主義再考——「音」の本質にみる「感覚」——	米良 ゆき	121
第七十一回美学会全国大会報告		
大会報告		133
発表要旨（一覧は 179-180 頁を参照）		137
書評		
樋口桂子 著『日本人とリズム感——「拍」をめぐる日本文化論——』 青土社、2017 年	貫 成人	158
例会・研究発表会発表要旨		163
学会消息・編集後記		176
欧文要旨		186